7月3日（金曜日）「知恵の叱責に聞け」

【新改訳 2017】

箴言　1•20－33

「私の叱責に心を留めるなら、今すぐ、あなたがわたしの霊を注ぎ、あなたがたにわたしのことばを知らせよう。わたしが呼んだのに、あなたがたは拒んだ。‥‥‥わたしの叱責を受け入れなかった。」（23－25節）

ここでは、「知恵」を擬人化して述べています（20節）。

また、この「知恵」は、キリストを暗示しているとする解釈もあり、そう読むとよくわかります。

① 真の知恵に接する時、多くの場合、自分の愚かさ、偽り、虚栄などに気づかされます。それは知恵の叱責です。それに心を留めなさいと言われます。それは反省と罪の悔い改めを意味します。②そうすれば主の霊を注がれ、主のみことばが真にわかるようにされるのです。御霊をいただいているキリスト者は、その満たしと祝福をいただけるのです。③しかし、知恵の叱責を拒む者は、御霊の満たしの祝福は受けられません。私たちはどちらでしょ

うか。

～祈り～

主よ。あなたの叱責を受け入れることが難しい者です。憐れんでください。どうか、それを心に留め、御霊の満たしをいただき、それができるようにしてください。

【学びのために】

ここには、聖霊の注ぎ（満たし）にあずかる秘訣が記されています。私たちは、人を責めることはよくあっても、人の、自分に対する叱責や忠告を聞こうとはなかなかしないのではないでしょうか。